

インド向けにLNG再ガス化設備を受注

平成 26 年 3 月 11 日

東洋エンジニアリング株式会社

東洋エンジニアリング株式会社(TOYO、取締役社長 石橋 克基)は、インドのペトロネット LNG 社が同国西部グジャラート州ダヘジで計画する、LNG 受入能力を年産 1,000 万トンから 1,500 万トンへ増強するための再ガス化設備を受注しました。TOYO のインド法人 Toyo-India が主体となり、設計から工事・試運転までの EPC 業務を一括請負で実施します。プラントの完成は 2017 年初旬を予定しています。

インド初の LNG 受入基地であるダヘジ基地は、2000 年に石川島播磨重工(現在の IHI)、TOYO、伊藤忠商事、三井物産のコンソーシアムが年産 500 万トンの LNG 受入設備の建設を受注し、2006 年には IHI と TOYO のコンソーシアムで受入能力増強プロジェクトを受注しました。インドでは、電力や肥料などの需要拡大に伴い、現在 10 基以上の LNG 輸入基地が計画されています。TOYO は今後とも、インドでの LNG 受入基地関連案件の受注に向け、積極的に営業活動を展開していきます。

受注概要

- 客 先: ペトロネット LNG (Petronet LNG Ltd.、本社:ニューデリー)
- 受注者: Toyo-India と Toyo-Japan のコンソーシアム
- 建設地: インド西部グジャラート州ダヘジ
- 対象設備: LNG 再ガス化設備(受入能力 年産 1,000 万トンから 1,500 万トンへの増強)
- 役務内容: 設計、機器資材の調達、工事、試運転までの一括請負
- 完成予定: 2017 年初旬

<お問い合わせ先> 広報・IR 室 [担当:佐藤、深沢] TEL:047-454-1113